

平成23年度 健康維持増進住宅研究委員会 議事要旨

1. 日時： 平成24年3月16日（金） 10：00～12：00
2. 場所： 東京グリーンパレス 地下1階 「ばら」
3. 出席者： 村上委員長、坊垣副委員長、伊香賀部会長、小泉部会長、田辺部会長、吉野部会長、清家幹事、石川委員、東嶋委員、米田委員、佐々木委員（代理：里氏）、尾菌委員、鯉淵委員（代理：宮崎氏）、村木委員（代理：高原氏）、富田委員、三岡委員、湊上委員（代理：赤羽氏）、土井委員（代理：遠藤氏）、井上大臣官房審議官
〔オブザーバー〕（独）都市再生機構、（独）住宅金融支援機構、一般財団法人ベターリビング、（財）住宅リフォーム・紛争処理支援センター、健康維持増進住宅研究コンソーシアム、環境省
〔事務局〕 国土交通省住宅局住宅生産課
4. 議事：
 - （1）部会の活動報告
 - 1）設計ガイドライン部会
 - 2）健康影響低減部会
 - 3）健康増進部会
 - 4）健康コミュニティガイドライン部会
 - <質疑応答>
 - （2）普及促進委員会活動報告
 - （3）特別報告
健康維持増進住宅ガイドブックの紹介
CASBEE健康チェックリストの紹介
 - （4）フリーディスカッション
 - （5）その他
5. 議事概要：

議事に先立ち、国土交通省住宅局井上大臣官房審議官、村上委員長より挨拶があった。

[井上審議官あいさつ]

健康維持増進住宅という重要なテーマに対し、産学官が連携し、研究を続けてこれらことは非常に価値があると感じている。本研究会を通じ、健康維持増進住宅の推進に繋がっていただくことを期待している。

[村上委員長あいさつ]

本研究委員会では、住宅・地域という社会基盤を通じて、クオリティ・オブ・ライフの向上、肉体、精神、社会の活性化を図ることを目的としている。

また、1986年にWHOが出したヘルスプロモーションという言葉があり、これは「人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」と定義されているが、本研究委員会の主旨に合致していると考えている。

本日は5年目の成果が紹介されることになっている。最後までよろしくお願いいたします。

(1) 部会の活動報告（資料5～8）

4部会の部会長（設計ガイドライン部会：小泉部会長、健康影響低減部会：吉野部会長、健康増進部会：田辺部会長、健康コミュニティガイドライン部会長：伊香賀部会長）から、平成23年度に活動について報告された。

[質疑応答]

次年度作成予定の設計者・施工者向けマニュアルについても、居住者向けガイドブックと同様、それぞれの要素に対し、基本・推奨・選択というレベル付けを行うのか？

→その通りである。

(2) 普及促進委員会活動報告（資料9）

坊垣副委員長から、平成23年度の活動として、シンポジウムの開催、各種集会での成果発表、調査・研究活動の支援、コンソーシアムの設立運営について報告された。

(3) 特別報告

小泉部会長から健康維持増進住宅ガイドブック、清家幹事からCASBEE健康チェックリストについて紹介が行われた。

(4) フリーディスカッション（主な意見）

CASBEE健康チェックリストにおいて、項目ごとに「よくある」「たまにある」「めったにない」「ない」の4つのいずれかを選択することとなるが、項目ごとに点数の重み付け等を行っているのか？

→行っていない。

(5) その他

事務局より、委員会資料の取り扱い等について、説明が行われた。

以上